

上海ブラスバンド日本支部 第3回演奏会



2018. 2. 17(土)

【プログラム】

ジュビロソ(フィリップ・スパーク)
風紋(保科洋)
エル・カミーノ・リアル(アルフレッド・リード)
ハリウッド万歳(岩井直博編)
シング・シング・シング(プリマ)
炒飯の掟(福島弘和)
オペラ座の怪人(アンドリュー・ロイド・ウェバー)
ほか

16時開演(15時30分開場)

江東区文化センター

入場無料

※定員になりましたら入場をお断り
させていただきます。



主催・上海ブラスバンド日本支部

お問い合わせ sbb.info@gmail.com

上海ブラスバンド日本支部

上海ブラスバンドは上海で活動する日本人吹奏楽団です。2004年に創立され、年2回の演奏会とイベントでの演奏を続けてきました。現在の在籍団員は約70名。近年は中国の青少年吹奏楽団との交流など活動の幅を広げています。

上海ブラスバンド日本支部は、上海から帰国した団員たちの集まりです。東京を初め全国各地で定期的に合奏練習を行い、年に1度は全国から集まって演奏会のための合宿もしています。このたび、年々増える帰国団員と世界各地から上海ブラスバンドに心を寄せるOB、そして上海の現役団員も参加して第3回演奏会を開催いたします。お楽しみいただければ幸いです。



今回の聴きどころ

江東区文化センター

〒135-0016 東京都江東区東陽 4-11-3

風紋 吹奏楽コンクールの歴史の中でも、この1987年の課題曲は記憶に残る名曲として愛されています。気まぐれな風や砂の模様のイメージ、いいですねえ。

エル・カミーノ・リアル タイトルは「王の道」という意味のスペイン語で、アルフレッド・リードの世界が広がります。フラメンコなどのコード進行に基づいて構成されているそうです。たぎるぜ。

炒飯の掬 ちよわん、ちよわん～。これこそ中国、これこそ上海ブラス。中華鍋叩いてるんじゃなくてチャイニーズゴングですよ。語りつきであなたもチャーハンの鉄人に！

オペラ座の怪人 劇としてはもちろんのこと映画でも有名なロードウェイ・ミュージカル。楽曲が粒ぞろいです。泣きたくなるメロディーや運命を感じる音圧であなたをオペラ座劇場の世界へいざないます。

